

(一社)日本公園施設業協会では公園の安全管理用の機器として マイクロストーン(株)の「落下衝撃吸収性能評価装置」を採用しました

一般社団法人 日本公園施設業協会

協会について

一般社団法人日本公園施設業協会は、公園施設業の健全な発展と社会的地位の向上を図り、安全で快適かつ魅力ある公園施設を広く国民の利便に供することを目的として、公園施設の安全性・耐久性・快適性等を考慮した製品の開発のため技術開発や調査研究、需要調査、国際交流、普及啓発等について積極的な活動を展開してまいりました。現在の会員は、遊具を含む公園施設製品を扱う業者約150社で、公園施設製品の安全に関する規準づくり、管理者のための「遊具の日常点検講習会」の開催、点検業務受諾などの事業を実施しています。

遊具の安全に関する規準づくり

当協会では、国土交通省が平成14年3月に示した「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」の内容に沿って、平成14年10月に日本で初めての「遊具の安全に関する規準(案)」を策定しました。当時遊具の設置面に関し、欧米の安全基準を参考にしたものの、国内に落下衝撃吸収性能を測定する装置が見当たらず、明確な数値基準を示すには至りませんでした。その後、国土交通省が平成20年8月に改定した指針をふまえて、維持管理内容を充実させた「遊具の安全に関する規準」を策定しましたが、欧米の基準そのままでは非常に煩雑な測定が必要のため、落下衝撃吸収性能の測定に関して規準に盛り込むことは見送られました。この間、関係機関の協力のもと装置の開発、測定方法の確立が進み、このたび平成26年6月に国土交通省が改定した指針に則り、当協会も規準を見直し、利用の際に“運動能力やバランス能力が要求される遊具”に対する設置面対策に対して明確な数値や管理・測定方法を記載しました。



遊具周辺の衝撃吸収評価の様子

採用に至る経緯

欧米では以前から遊具に関する様々な基準がありましたが、最初の規準(案)策定当時、日本国内では欧米のような管理用の機器が見当たりませんでした。そこで、当協会では規準策定に向け、「公園遊具からの落下による重大な事故を防ぐため、遊具設置面の衝撃緩和状態を現場で簡単に測定できる装置を開発して欲しい。」と長野県工業技術総合センターへ相談を持ちかけました。平成16年から(公財)長野県テクノ財団などの協力のもと、協会会員企業とマイクロストーン(株)、長野県工業技術総合センター、信州大学工学部とで「落下衝撃吸収性能評価装置開発研究会」を設立し、装置の開発を進めて来ました。

平成19年には、現場でだれでも簡単に公園等の遊具設置周辺の衝撃緩和特性を測定できるポータブル型の「落下衝撃吸収性能評価装置」をマイクロストーン(株)が製品化し、協会会員企業によるフィールド試験を実施してまいりました。また、長野県短期大学の協力のもと、1回の測定で、測定手順が煩雑な欧米の方法(ASTM規格)と同等の評価が可能なJPFA方式の試験手順を確立しました。これにより、専門的な知識や設備がなくても安全管理が可能となり、国土交通省の指針改定、協会での規準見直しに合わせ、マイクロストーン(株)の「落下衝撃吸収性能評価装置」を安全管理用の機器として正式に採用しました。



今回採用した評価装置

お問い合わせ

協会について

一般社団法人 日本公園施設業協会

〒104-0043
東京都中央区湊 2-12-6 湊SYビル
TEL 03-3297-0905
<http://www.jpfa.or.jp>

会見内容について

日本体育産業株式会社

〒381-0023
長野県長野市大字風間 2034
TEL 026-221-6252
<http://www.nittai-kk.co.jp>